

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 129

事務事業名	社会福祉協議会運営費補助事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	福祉総務課		
課長名	森 克彦	内線	460
担当者名	小森 温美	内線	151

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020401	暮らしのセーフティネットの充実
施策		低所得者の生活支援
関連施策	020203	高齢者を地域で支える体制の整備

会計	一般会計	
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	1	社会福祉総務費
事業コード	030100	社会福祉協議会運営費補助事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	社会福祉法人 大村市社会福祉協議会		
意図 対象をどのような状態にしたいか	公共的な性格を有する大村市社会福祉協議会の運営費を補助することで、市民が安定して公平で質の高いサービスを受けられるようにする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	地域福祉の推進のために事業展開している社会福祉法人大村市社会福祉協議会の運営費に対する補助を実施している。		
事業期間	昭和 48 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	社会福祉法、大村市社会福祉事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 補助対象職員数	計画値	10	11	10	10	
		実績値	10	10	10		
		達成度	%	100.0%	90.9%	100.0%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	①	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	23,909	27,974	44,472	34,068	39,421	39,421	39,421	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	23,909	27,974	44,472	34,068	39,421	39,421	39,421	
② 人件費(千円)	1,987	1,663	1,411	1,236	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.25	0.22	0.20	0.17	運営費補助	運営費補助	運営費補助	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	25,896	29,637	45,883	35,304				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成28年度も社協基金から運営費へ補填された。 また、社会福祉協議会と運営補助金については協議を行っているが、方向性を見出すまでには至っていない。今後も引き続き協議していく必要がある。
事業が抱える問題・課題等	社協基金からの運営費補填は平成28年度まで延長できたが、平成29年度以降の補助額算定の見直しが必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内の社会福祉事業経営者及び社会福祉活動者の中心的役割を担い、かつ公共的な性格を有する大村市社会福祉協議会は、市民の福祉サービスの需要に幅広く、かつ公平に対応していくために不可欠な存在であり、その運営を支える補助事業の必要性は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に基づく地域福祉の推進を目的として設立された団体であることから、公共的な性格を有しており、その運営費を市が支援することはきわめて妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市社会福祉協議会の事業展開は、その充実度において市内外から高い評価を得ており、本事業には一定の成果が認められる。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市社会福祉協議会の事業展開は、施策の方向性と一致しており、施策の推進における効果は大きい。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	職員の人件費の見直しについては、可能な限り嘱託員、臨時職員への転換を図っており、現状ではこれ以上の見直しは困難である。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	社協基金からの運営費補填は平成28年度までであり、平成29年度以降は市の財政負担が増える見込みである。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後も効率的な運営を持続させるために検討を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	地域福祉の中核を担う大村市社会福祉協議会の効率的な運営が可能となる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。